

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 8 月 ～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成18年度全国高等学校総合 体育大会 自転車競技 4000m団体追抜	優勝	H18.8.5	岐南工高		岐南工チームは、一糸乱れぬ隊列や終盤の加速で、圧倒的な強さを見せ付けた。決勝では、チームの今季ベストタイムをマークして和歌山北高を下し、2年ぶりに王座を奪還した。 (大阪府：岸和田競輪場)
3000m個人追抜	優勝	H18.8.4	不破 将登 (岐南工高)		強風の中で行なわれた決勝では、ラスト2周から猛烈なスパートを掛け、森田(和歌山北)を圧倒した。 (大阪府：岸和田競輪場)
トラック学校対抗	第3位	H18.8.5	岐南工高		岐南工チームは、優勝2種目、3位1種目で加点し、トラック学校対抗において総合3位に入賞した。 (大阪府：岸和田競輪場)
ポイントレース	第3位	H18.8.5	高橋 翔太 (岐南工高)		2年生でメンタル面が心配された高橋だったが序盤に後方から好機をうかがい、中盤に加速して独走した。終盤2選手にかわされたが、堂々の3位入賞を果たした。(大阪府：岸和田競輪場)
ホッケー男子	第3位	H18.8.5	岐阜総合学園高		準決勝の対戦相手の天理高(奈良)は選手個人技のレベルが高く、総合学園は厳しいプレスで応戦したが、力及ばず1-3で敗退した。 (大阪府：長居球技場)
ホッケー女子	第3位	H18.8.5	岐阜各務野高		準決勝で丹生高(福井)に先制を許し、一度は逆転したものの、後半2つのPCを奪われ、2-3で逃げ切られた。(大阪府：長居球技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成18年度全国高等学校総合 体育大会 剣道男子団体	第3位	H18.8.4	麗澤瑞浪高		準々決勝で若松商(福島)相手に、1 - 2から主将の埋金の活躍で逆転勝ちを納めた。準決勝で水戸葵陵(茨城)に0 - 4で敗れたが、県勢35年ぶりの入賞を果たした。(京都府:京都府立体育館)
卓球男子団体	第3位	H18.8.9	富田高		準決勝で仙台育英高と対戦した。シングルス2人は敗れ、ダブルスで勝つなど健闘したが1 - 3で惜敗した。富田高男子では初となる、堂々の3位入賞であった。(大阪府:大阪中央体育館)
卓球女子団体	第3位	H18.8.10	富田高		初戦から順調に勝ち進んだが、準決勝で福原愛を擁する青森山田に1 - 3で惜敗し、3位入賞を果たした。(大阪府:大阪中央体育館)
卓球男子シングルス	第3位	H18.8.11	李 萌 (富田高)		準々決勝で全日本ランキング12位の松平(青森山田)にフルセットの末競り勝ったが、準決勝では高木(青森山田)に4 - 1と惜敗した。 (大阪府:大阪中央体育館)
レスリング 団体	第3位	H18.8.3	岐南工高		岐南工は、3回戦で優勝候補の霞ヶ浦(茨城)を下して波に乗り、準々決勝で山口鴻城(山口)に快勝して準決勝に臨んだが、秋田商(秋田)に2 - 5で敗れ、昨年に続いて3位に入賞した。 (大阪府:岸和田市総合体育館)
レスリング 84kg	第2位	H18.8.5	鈴木 聖二 (岐阜工高)		準々決勝・準決勝ともに2 - 0と相手を寄せ付けずに快勝して決勝に臨んだ鈴木だったが、永田(京都・網野)に選抜に続き2 - 0で完敗した。 (大阪府:岸和田市総合体育館)
陸上競技 女子 3000m競歩	第3位	H18.8.3	栞原 一菜 (県岐阜商高)		競歩の競技歴1年半の栞原は、全国的に無名であったが、「楽しんで」レースに臨み、県新記録並びに県高校新記録を樹立して、堂々の3位入賞を果たした。(大阪府:長居陸上競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成18年度全国高等学校総合 体育大会 フェンシング 男子サーブル	第2位	H18.8.6	小寺 達也 (大垣南高)		サーブルを本格的に始めて2か月の小寺は、決勝で11-15と敗れたが、自身が驚くほどの快進撃で準優勝を果たした。(京都府：大山崎町体育館)
ボクシング ウェルター級	第3位	H18.8.6	宇佐美 太志 (岐阜工高)		準決勝では、監督の指示どおり動き回ってポイント稼ぐ作戦に出て、前半リードを保ったが、第2ラウンド途中からスタミナが切れて、第3ラウンド終了間際に有効打を受けて逆転負けを喫した。 (大阪府：熊取町立総合体育館)
バドミントン 女子シングルス	第3位	H18.8.6	奥 幸那 (県岐阜商高)		優勝候補の奥は、全国屈指のストロークとパワーを発揮できぬまま、準決勝で樽野(金沢向陽高)に2-0のストレート負けを喫した。(奈良県：奈良市中央体育館)
テニス 女子ダブルス	優勝	H18.8.8	田島 亜矢奈 田島 杏奈 (県岐阜商高)		決勝では、技術は相手と互角であっても、姉妹にしか共有できない深い信頼感が支えとなって内田・大竹(東京・富士見丘)を2-0で下し、初優勝を果たした。これは県勢初の快挙である。 (兵庫県：神戸総合運動公園)
柔 道 女子70kg級	第3位	H18.8.12	田淵たまえ (大垣日大高)		2回戦を優勢勝ちしてから持ち味を発揮した。準決勝は田知本(富山・小杉高)を相手に延長にもつれこんだが、横四方固めで惜しくも敗れ、昨年に続き3位となった。 (大阪府：堺市金岡公園体育館)
柔 道 女子78kg級	第3位	H18.8.12	山中 美香 (瑞浪高)		初戦から好調で、各試合ほぼ1分を切るタイムの1本勝ちで準決勝へ駒を進めた。対戦相手の市橋(兵庫・三田松聖)と好勝負を演じたが、一瞬のすきを突かれ、崩れけさ固めで1本負けした。 (大阪府：堺市金岡公園体育館)
水 泳 男子50m自由形	第3位	H18.8.18	小西 一輝 (帝京可児高)		予選は23秒98の4位で通過し、決勝は大会記録を上回った1,2位には及ばなかったものの、23秒76のタイムで見事3位入賞を果たした。 (大阪府：門真市なみはやドーム)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第57回 日本実業団水泳競技大会 男子 200m背泳ぎ	優勝	H18.8.5	竹内 勇紀 (大垣共立銀行)	大垣商高卒	予選は3組5コースで出場し、全体の1位で通過した。決勝も余裕のある泳ぎで、2位に1秒5の差をつけて優勝した。 (愛知県：豊橋市屋内プール)
男子 100m背泳ぎ	第2位	H18.8.6	竹内 勇紀 (大垣共立銀行)	大垣商高卒	予選は4組5コースで出場。余裕を持った泳ぎで59秒16と、予選全体の2番目で通過した。決勝は死力を尽くしたが、先頭に0.31秒及ばず準優勝となった。(愛知県：豊橋市屋内プール)
第19回 全国少年フェンシング大会 中学男子の部	第2位	H18.8.12	伊藤 真 (輪之内中)		身長148cmと小柄な伊藤は、大柄な他の2.3年生選手に混じって健闘し、決勝まで駒を進めたが、残念ながら敗れて2位となった。 (京都府：大山崎町体育館)
中学女子の部	第3位	H18.8.12	安田 有希 (輪之内中)		中学女子の部に出場した安田も3位に入る健闘を見せ、男子の部で2位に入った伊藤とともに、11月にドイツで開かれる国際大会の出場権を得た (京都府：大山崎町体育館)
小学校1,2年生 男女混合の部	第2位	H18.8.12	伊藤 拓真 (福束小)		伊藤3兄弟の末弟である拓真は、落ち着いた戦いで決勝に進出したが、惜しくも敗れて準優勝となった。〔父一人は大垣東高フェンシング部監督、真・真希・拓真の3兄弟で、真希は同大会小学3・4年の部で5位〕(京都府：大山崎町体育館)
2006パンパシフィック水泳選手権 女子 100m平泳ぎ	第6位	H18.8.18 (現地時間)	三輪 芳美 (早稲田大)	県岐阜商高卒	予選は全体の7番目の記録で通過した。決勝は予選を0.45秒上回るタイムで6位に入賞したが、「タイムはよくなかった。」のコメントを残した。 (カナダ：ビクトリア)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
全国高校生グレコローマン選手権 96kg級	第3位	H18.8.19	伊藤 信明 (加茂農林高)		大技が次々に決まり、準決勝に進出した。一本背負いを仕掛けた時に左足首を捻挫する不運により、敗退したが、3位決定戦で痛みをこらえて戦い、判定勝ちした。(東京都:駒沢体育館)
平成18年度全国中学校体育大会 剣道 女子個人	第2位	H18.8.19	佐藤 佑美 (八百津中)		小学6年生時に、団体全国制覇した経歴を持つ佐藤は、再三の延長戦にもつれる混戦に耐えて勝ち進んだ。決勝ではスタミナが切れたせいか、中尾(阿蘇中)の小手に屈した。 (徳島県:鳴門総合運動公園体育会館)
新体操 個人総合	第3位	H18.8.20	舛中はるな (大垣東中)		舛中はフープで完璧な演技を見せたが、ロープでジャンプの際に足に引っ掛けるミスをしたことを悔やんだ。種目別のロープとフープでも3位に入った。 (徳島県:アスティとくしま他)
陸上競技 男子 走幅跳	第2位	H18.8.21	花井 貴弘 (泉 中)		決勝5本目を終わって7位だった花井は、集中力を高めて最後の6本目に挑み、見事6m74の自己ベストを跳んで準優勝を決めた。 (香川県:丸亀競技場)
陸上競技 男子 砲丸投	第3位	H18.8.21	山元 隼 (不破中)		本年度から規格変更により、砲丸は5kgと重くなった。体格に恵まれた山元は、大舞台でも臆することなく戦い、14m69の自己ベストを投げて3位に入賞した。(香川県:丸亀競技場)
陸上競技 女子 四種競技	第3位	H18.8.21	桐山 智衣 (岐北中)		全国ランキング2位で臨んだ大会であったが、腿の付け根の痛みをこらえての出場となり、苦戦したが、よく粘って3位に入賞した。 (香川県:丸亀競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
平成18年度全国中学校体育大会 水泳男子1000m バタフライ	第2位	H18.8.23	安江 雄輔 (中山中)		予選を全体の3位で通過した安江は、決勝でも快調な泳ぎを見せ、自己新記録を樹立して、2年生ながら2位に入賞した。 (高知県:春野総合運動場他)
第41回全国都道府県対抗 自転車競技大会 4000m団体追い抜き	優勝	H18.8.21	岐南工高		予選は快調にチーム新をマークした。決勝では京都を相手に序盤苦戦したが、終盤で逆転して、3年連続9度目の優勝を遂げた。 (秋田県:六郷自転車競技場)
少年男子 1000m タイムトライアル	優勝	H18.8.21	不破 将登 (岐南工高)		4000m団体追い抜きと競技日程が重なってスタミナが心配されたが、ハンディを感じさせない快走で、1分7秒534の自己新をマークして初優勝した。(秋田県:六郷自転車競技場)
少年男子 24,000m ポイントレース	優勝	H18.8.22	高橋 翔太 (岐南工高)		レースに勇敢に挑んだ高橋は、序盤から好位置に付け、中盤で着実にポイントを加算し、終盤に逃げ切る、完璧なレース運びで優勝した。 (秋田県:六郷自転車競技場)
男子 総合得点	第2位	H18.8.22	岐阜県		岐阜県チームは、優勝3種目等で加点し、男子都道府県対抗において秋田県に次いで、総合2位に入賞した。(秋田県:六郷自転車競技場)
第15回全日本新体操クラブ選手権	第2位	H18.8.24	NPOぎふ 新体操クラブ 浅野みわ 浅井美彩登 横山加奈		シニア2人(高校生)・ジュニア1人(中学生)の3人が1チームで4種目ずつを戦い、順位を競う大会。前半4位だったが、後半のリボン・フープで順位を上げて2位となった。県勢初の世界クラブ選手権への出場権を獲得した。 (東京都:東京体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第4 1回全日本大学男子 ソフトボール選手権大会	第2位	H18.8.28	中京学院大		準決勝で神戸学院大に八回特別ルールによる延長の末3 - 2で競り勝って決勝に進出した。決勝は強豪国士舘大と対戦して、0 - 6で完敗した。 (愛知県：豊橋市民球場他)
第5 1回全国高校軟式野球選手権 大会	第2位	H18.8.29	中京高		決勝は、今大会でともにノーヒットノーランを達成している中京高校の伊藤と、作新学院の種市との息詰まる投手戦となった。0 - 0で迎えた7回裏に足を痛めた伊藤が四球を連発して、押し出しの1点が決勝点となった。 (兵庫県：明石公園野球場)